



シックスセンス レジデンスへ おかえりなさい 365 日シックスセンスがゲストのライフスタイルをサポート

2019年1月

夢のように楽しい休暇も終わりを迎える時は寂しさを感じるものです。なぜ終わらせなければいけないのでしょうか？シックスセンス レジデンスから、この旅行後の憂鬱を解消する素晴らしいニュースをお届けします。それは、世界中の絶好ロケーションを誇るシックスセンスを“自宅”と呼べるチャンスです！

レジデンスを所有することにより、高いプライバシーに守られたプライベートヴィラまたはアパートに滞在しながら、シックスセンス ホテルまたはリゾートのオリジナルアメニティーや特典を全て利用することができます。ウェルネス、サステナビリティ、非日常体験をブランドの柱に据えるシックスセンスは、敷地内外に広がる自然や周辺コミュニティと調和する施設を開発し、運営しています。その中でも、シックスセンス レジデンスは、各地の地域性に合わせた独自のスタイルを構築し、各居住者に合わせたホスピタリティを提供することにより、“自宅”と感じていただける特別なステイを実現します。

レジデンス居住者は、息をのむほど美しい熱帯の島、雪山リトリート、誰もがうらやむ大都市の中心地など、世界中のベストロケーションをご堪能いただけます。シックスセンスのレジデンスは、再利用可能な資材や地産の素材を活用し、高効率の水・エネルギー循環システムを完備しています。環境への負荷を軽減する一方で、広々とした空間と快適性を兼ね備えており、自然が導いてくれる理想的な居住空間です。

シックスセンスホテル リゾート スパ最高経営責任者、ニール・ジェーコブス氏は、新たなレジデンス開発計画について次の通りコメントしています。「シックスセンスは、非日常的な絶景ロケーションを厳選しながら、当ブランドを支持していただいているゲストのために、プロパティのポートフォリオを拡大中です。次のステップとして、ゲストが“自宅”と呼べるレジデンスを提供することは、自然な流れだと考えています。不在時には、ホテルルームとして運用することも可能であり、有形資産投資にもなります。」

開発途中の案件も含めて、現在12軒以上のレジデンスプロジェクトが進行中です。レジデンス単独スタイル、ホテルやリゾートとの統合型スタイルの2つのスタイルがあります。いずれのプロジェクトも、シックスセンスならではのウェルネス・ライフスタイルを提案しています。ヘルシーでクリーンなローカル食材を活かしたEat With Six Senses（6感で味わう食事）、特別な寝室のセットアップで最良の睡眠へ誘うSleep With Six Senses（快適な安眠環境）をお楽しみいただけます。そして、様々なウェルネス専門家が入れ替わり訪れる先駆的なスパの幅広いサービスをご利用いただけます。

スタイリッシュなデザインと高い機能性を兼ね備えた各レジデンスは、シックスセンス独自のデザインと建築に関する基準を遵守し、環境や周辺地域に配慮して建設されています。各レジデンスに設置されている「アースラボ」には、サステナビリティに関する評価が掲示されており、レジデンスオーナーに公開しています。また、水陸両方における野生生物の環境保護や生息地の再生活動を含む各種コミュニティプログラムにもご参加いただけます。

シックスセンス レジデンス ジルパシオンは、すでにオープンしている単独スタイルのレジデンスの一つです。インド洋の真珠と称される、東アフリカ沖に浮かぶセーシェル共和国のプライベートアイランド、フェ

リシテ島に位置しています。丘の上に建設されたレジデンスからは、極上の景色を一望できます。ベトナムのコンダオ諸島、コンソン島の東海岸に位置する**シックスセンス レジデンス コンダオ**は、3~5つの寝室を有するヴィラタイプのレジデンスを擁します。妨げるものが何もない素晴らしいオーシャンビューが目の前に広がります。南太平洋に位置するロマンチックな**シックスセンス レジデンス フィジー**も、同じくヴィラタイプのレジデンスを採用しています。各ヴィラは、2~5つの寝室数を有しています。絵に描いたように美しい高級リゾート地、トルコのエゲ海を臨む**シックスセンス レジデンス カプランカヤ**では、プライベートヴィラの滞在を通じウェルビーイングに特化したとっておきの体験をサポートします。

ヴィラタイプのレジデンスのほか、アパートタイプも展開しています。フランスの**シックスセンス レジデンス クールシュヴェル**は、世界屈指の高級スキーリゾート地に位置し、1~4つの寝室を有するアパートと、5つの寝室を有するデュプレックスのペントハウスから構成されています。スイスの超高級山岳リゾートにオープン予定の**シックスセンス レジデンス クラン - モンタナ**では、外国人が別荘として購入できる特別な許可を取得しているレジデンスの販売も開始しています。アパートタイプのレジデンスは、山岳リゾート地に加えて、大都会の中心地でも開発が進められています。**シックスセンス ニューヨーク**は、その先駆的な事例です。マンハッタンの中心地、ハドソン川とハイラインの間に位置するチェルシー西部の開発プロジェクト**The XI** (ザ・イレブンス) 内に位置し、プロジェクトの主要な構成要素として位置づけられています。自然の美しさからインスパイアされたレジデンスは、多彩な天然素材をふんだんに使用した内装となる予定です。ホテル機能は、2020年にオープン予定です。

これらの他にも多数のプロジェクトが計画されています。タイ王国の首都バンコクに計画されている**シックスセンス レジデンス フォレストィア**もその一つです。予定地は、静かで落ち着いた環境を有するバンナー地区に位置し、市内の観光文化施設へのアクセスも良い好ロケーションです。ブラジルの**シックスセンス レジデンス フォルモーザベイ**は、7キロ続く大西洋のビーチフロントに開発される計画です。**シックスセンス レジデンス イベサ**は、イベサ島の最北端、透き通るように美しい静かなCala Xarraca湾に建設が予定されています。コスタリカ共和国の**シックスセンス レジデンス パパガヨ**は、大自然の中でエコアドベンチャーが楽しめる自然公園内に計画が予定されています。この他、2軒の開発計画がまもなく公表される予定です。

より詳しい情報は、公式サイトをご覧ください：www.sixsenses.com/residences



周りの自然に溶け込むように建設されている**シックスセンス レジデンス ジルパシオン** (セーシェル共和国)
[高解像度の画像はこのテキストをクリックしてダウンロードしてください。](#)



シックスセンスズ レジデンス クールシュヴェル (フランス)、リビングルームのテラスからの神秘的な眺望
[高解像度の画像はこのテキストをクリックしてダウンロードしてください。](#)



マンハッタンにそびえ立つシックスセンスズ ニューヨーク
[高解像度の画像はこのテキストをクリックしてダウンロードしてください。](#)

About Six Senses Hotels Resorts Spas

シックスセンスズ (Six Senses)、エバソン (Evason)、シックスセンスズ スパ (Six Senses Spas) のブランド名にて、現在21ヶ国、15軒のリゾートと31軒のスパを運営しています。今後5年間にポートフォリオを3倍に拡大すべく、オーストリア、ブータン、ブラジル、カンボジア、中国、インド、インドネシア、イスラエル、セントクリストファー・ネイビス連邦、スペイン、スイス、台湾、タイ、アメリカで様々なプロジェクトを展開中です。

Six Senses 自然環境と地域社会との共生、サステイナビリティ、ウェルネスとデザインへのコミットメントを理念に掲げ、企業の社会的責任を遂行する徹底したスタンスにより、自然派ラグジュアリーリゾートの先駆者として名を馳せています。島滞在型リゾート、山岳リトリート、都市型リゾートなど個性あふれるリゾートを展開しています。どのタイプのリゾートにおいても、ゲストが自然や文化に溶け込めるようデザインされており、各地の地域性を生かした斬新かつ独創的な体験をお楽しみいただけます。

Six Senses Spas ウェルネス業界に於けるリーディングカンパニーとして、熟練のセラピストのもと地域の伝統療法を活かしたホリスティックウェルネス、リジュベネーション、ビューティートリートメントを提供しています。すべてのシックスセンスズリゾート内に併設されているほか、16軒の独立型スパを運営していま

す。セラピストの高い技術力とハイテク機器を合わせたアプローチにより、ナチュラル感あふれる癒しの空間の中で、ゲストをより深いウェルビーイングへと導きます。

Evason シックスセンスの理念を継承しつつ、家族連れや友人同士の旅行からハネムーンまで幅広い客層のゲストに満喫していただけるカジュアルなラグジュアリーリゾートです。現在、2軒のリゾートをエバソン (Evason) ブランド名にて運営しています。ご家族でお楽しみいただける思い出に残る体験を幅広く提供しています。

リゾートの予約： Six Senses Hotels Resorts Spas 0120-921-324

問い合わせ： japan@sixsenses.com (日本語対応)

メディア関連の問い合わせ： ケントス・ネットワーク 03-3403-5328 / info@kentosnetwork.co.jp